

労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)

ホルモン受容機構異常に関する調査研究

分担研究報告書

低カルシウム血症性疾患の検討

研究分担者 福本誠二 徳島大学先端酵素学研究所 特任教授

研究要旨:副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症等に関する全国アンケート調査を行った。また FGF23 関連低リン血症性疾患患者の病態を検討し、偽性副甲状腺機能低下症、および類縁疾患の新たな分類を提唱した。

A. 研究目的

低カルシウム血症性疾患や低リン血症性骨軟化症の病態や病因の解明から、これらの疾患の分類、診断、治療法を検討し、最終的には診療ガイドラインの作成を目指す。

B. 研究方法

アンケート調査は、疫学班のマニュアルに従い、3,501 科を対象として行った。FGF23 関連低リン血症性疾患患者、および血液透析患者の FGF23 濃度と心肥大や炎症の指標との相関を検討した。さらに文献の検討により、偽性副甲状腺機能低下症、および類縁疾患の新たな分類を検討した。

(倫理面への配慮)

アンケート調査は千葉大学の倫理委員会の承認のもと、FGF23 関連低リン血症性疾患患者の検討は、徳島大学(#2955)と川島病院(#0358-0364)の倫理委員会による承認の後、同意を得て行った。

C. 研究結果

アンケート調査から、推定患者数は副甲状腺機能低下症 2,304 名(95%信頼区間 1,189 名~3,419 名)、偽性副甲状腺機能低下症 1,484 名(1,143 名~1,825 名)と推計された。また、FGF23 と心肥大や炎症の指標との有

意な相関は認められなかった。さらに、分子的病因に基づく、偽性副甲状腺機能低下症、および類縁疾患の新たな分類を提唱した。

D. 考察

これらの結果は、今後これらの疾患に対する診療マニュアルの作成に有用と考えられる。

E. 結論

低カルシウム血症性疾患、および低リン血症性骨軟化症の病態の検討を行い、偽性副甲状腺機能低下症、および類縁疾患の新たな分類を提唱した。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Takashi Y, Wakino S, Minakuchi H, Ishizu M, Kuroda A, Shima H, Tashiro M, Miya K, Okada K, Minakuchi J, Kawashima S, Matsuhisa M, Matsumoto T, Fukumoto S. Circulating FGF23 is not associated with cardiac dysfunction, atherosclerosis, infection or inflammation in hemodialysis patients. J Bone Miner Metab. 38(1); 70-77, 2020

2. 学会発表

2019年10月13日

- 1) 窪田拓生他: 低リン血症性ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症のアンケート調査と患者レジストリ、第38回日本骨代謝学会学術集会、神戸、2020年10月9日
- 2) 高谷里依子他: 偽性副甲状腺機能低下症とその類縁疾患および副甲状腺機能低下症の全国アンケート調査、第37回日本骨代謝学会学術集会、神戸、

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
特記事項なし